

# 令和3年度 第2回政策推進会議報告

日 時 4月30日 13時30分～15時30分

場 所 WEB会議室

出席者 19人

## 1 次期尼崎市議会定例会市長提出予定案件について

総合政策局長及び資産統括局長から資料に基づき報告。

## 2 令和3年度重点課題事項の公表について

各局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 施策間連携の議論も行っているが、局またぎで連携して進めていくべき課題事項については是非、力をあわせて頑張りたい。
- ・(森山副市長) 今回の重点事項については、市長からもあったように各局の連携を図っていくのが一つの肝で、副市長として各局の連携をいかにスムーズにしていくかということに注力すべきと考えている。その中でも、私が所管している分野では、三つほど今考えており、一つはコロナの問題、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた地域経済の再生に取り組むこと。二つ目は気候異常事態宣言に関して、カーボンニュートラルに向けてどのようなことができるのか調整したいと思っている。三つ目は、都市整備局でもいろいろと提案があったが、将来を見据えたまちの再生や活性化に取り組む。こういった調整を中心に行っていきたいと考えている。
- ・(吹野副市長) 局またぎの課題の調整をこれまで以上に積極的に行う必要がある。特に、私が所管するところで、例えば地域振興体制の関係や重層的支援体制、あるいはこども青少年局と教育委員会との関係など、局またぎの課題が例年以上に非常に多く、心してかかる必要がある。また、今年は市と外郭団体との関係について、特に分類Ⅰの団体とどういう連携をしていくかも含め、そのための人材交流などについても整理をしないといけないと思っている。
- ・(市長) 今年度もかなり踏み込んでいろいろとヒアリング、充実した協議ができたと思っている。この後すぐに施策評価の作業が本格化していくが、重点課題事項ヒアリングの内容も踏まえ、副市長からもあった外郭団体との関係でこういったところがポイントになっていくかという点など、適宜調整会議などの場で意見交換しながら、オール尼崎でチーム一丸となって政策目的の達成に向けた取組が進められるように私も頑張りたい。

## 3 尼崎市児童相談所設置基本計画の策定に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

子どもの育ち支援センター所長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 一時保護所の整備については、大きなあり方と立地等のハード面をどうするかが課題

と思っている。国庫からの財源措置についての調整も必要だが、他に市有地の活用を予定している局の政策とも調整が必要かと思うので、適宜調整会議等で共有しながら協議したい。

#### **4 (仮称) 尼崎市脱炭素行動宣言(素案)に対する市民意見公募手続の結果について**

経済環境局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 6月が環境月間なのでそこで最初にアナウンスしていきたいが、「まず隗より始めよ」で、やはり市役所職員がこれを理解していないと話にならないので、全庁的に浸透するよう協力をお願いする。また国では温室効果ガスを2013年比で46%削減と言っているが、それを踏まえて本市計画の改定をしたいと考えており、達成に向けては再生可能エネルギーの比率を高めていくなどの取組が必要となる。財源調整も必要となり、一般財源だけに頼るのはなかなか難しい面もあるため、企業版ふるさと納税を通じた寄付のお願いや、様々な形でのSDGsの推進に具体策として提案をしていくであるとか、いろいろな取組を組み合わせたいと思っている。いずれにせよ、私たち自身がエネルギーを賢く使い、かつ、そのエネルギーの質を上げていくことを率先垂範する必要があると思うので、よろしく願います。

#### **5 その他**

○総合政策局長から市民提案制度について説明。(以下、質疑等)

- ・(市長) 各局、積極的・前向きに対応する雰囲気が強まってきており大変心強く、嬉しく思っている。これもやはり実際に市民と一緒に取り組む中で、市だけではなかなか進まなかった課題に少し展開があったり、前向きな変化が出てきたりと、手応えがある事例が出てきているということも影響していると思う。そういった事例も共有しつつ、局またぎでスピーディーな調整が必要なときは、調整会議などを随時行いながら、三役も含めて調整していきたい。繰り返しになるが、来年度の政策要求に乗せて予算を調整できるようにしていきたい。局の課題を解決する以上、局の方でも一定の財源捻出をお願いしていく前提にはなるが、オール尼崎でやっていきたいと思うので、引き続き前向きな取組をよろしく願います。
- ・(都市整備局長) 職員個人から提案されている阪神尼崎駅周辺の活性化に向けたプロモーションについては、先ほど局の重点課題事項として説明したように、都市整備局では阪神尼崎駅周辺のエリアマネジメントということで、エリアとして活性化したいと考えている。提案にあるように、情報を一体的に発信することが必要となる中で、阪神尼崎駅周辺のエリアマネジメントを担当する都市戦略推進担当の取組について提案者にも情報共有できるよう、よろしく願いたい。
- ・(総合政策局長) 提案者に対しては、事務局の協働推進課を通じて情報提供する。
- ・(都市整備局長) 都市整備局からは若手を中心に9つの提案を上げており、職員が考えるいいツールだと思うので、今後もこの制度を続けていただきたい。
- ・(市長) このように私たち自身の活性化にもつながる事例も出てきている。私たちがオファー

をかけていなくても、今後も市民からの提案がなされると思うが、単年度で成果が出なくても前向きに調整を続け、一方ではスピード感も持ってみんなでやれば進む、もしくはやり方を工夫すればできる部分があるかもしれない、そういった発想で頑張っていきたい。

- ・(危機管理安全局長) 提案一覧の資料は政策分野ごと、もしくは局ごとの整理になっているが、中身を見ていくと性質的に共通している課題があるように思う。例えば情報伝達や周知に関する項目でいくつか挙がっていて、危機管理の重点課題事項でも出てきたが、災害情報システムを用いて各地域に情報を流す取組を日常的に実施していく中で、運用できる項目もあるかと思うので、全庁的に調整し、効果的な周知について一緒に研究・実施していけたらと思っている。また、課題解決型の取組に関しては、内容はいろいろ異なるが、アプローチの仕方がヒントになることがあるので、そういったことに関しても課題を持っている局が共通して意識を持てるように、情報共有を図っていけたらと思う。
  - ・(市長) 政策推進会議を通じて行うか、また別途何か他の場があった方がいいのかを含めて、情報共有や調整の場を適宜入れていく。
- 総合政策局長から令和3年度10万人わがまちクリーン運動の実施について説明。
  - 総合政策局長からA-Lab Exhibition Vol.28の開催について説明。
  - 総合政策局長からティーンズサポートチケット2021PR事業の実施について説明。
  - 総務局長から、新型コロナウイルス応援体制の状況について説明。(以下、質疑等)
- ・(市長) 昨年度に引き続き第4波もなかなか厳しい状況で、ワクチン接種についてもしっかり取り組んでいかなければならない中、今後も各局必要に応じて応援をよろしく願います。

以 上